

ほこた市

令和2年4月発行 No.59



議会だより

コロナを吹き飛ばす!元気な「は〜い!」 〜つばま幼稚園入園式〜



令和2年第2回定例会の予定……**発表券**

令和2年度の予算が
可決されたよ。
注目事業は!



銚田市マスコットキャラクター ほこまる

議会映像配信の お知らせ



生中継・録画中継で
本会議を傍聴出来ます。

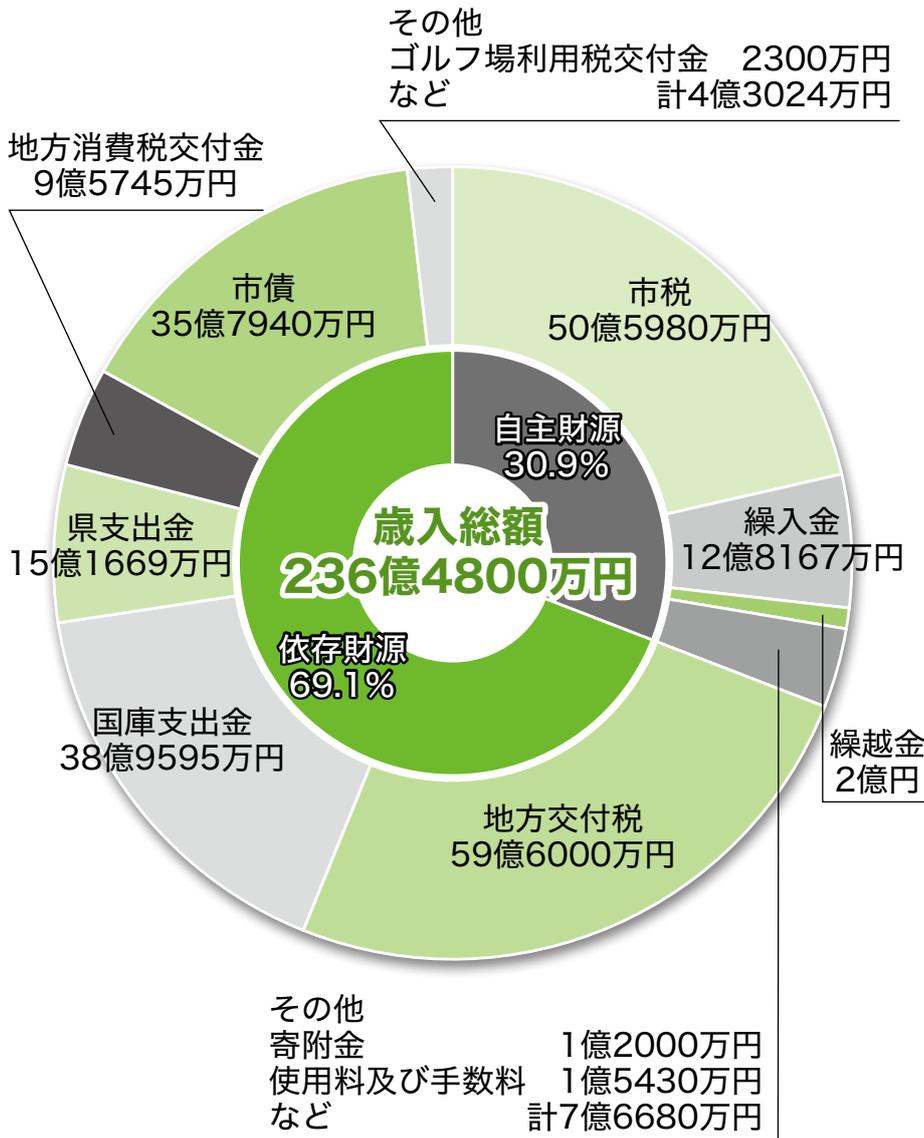
令和2年度予算特集	P2～7
令和2年第1回定例会の審議結果は? ..	P8～10
ここが聞きたい!一般質問“10人が質問しました”	P11～16
議会の活動を報告します	P17～19

私たちの税金

チェックしてみよう!!



一般会計 歳入



令和2年度一般会計予算は
前年度比14.1%増の236億4800万円

主な予算額増の要因としては、市道維持補修事業及び道路新設改良事業などによる土木費の増、大洋中学校区統合小学校整備事業及び閉校を活用した社会教育複合施設整備事業による教育費の増となっています。また、令和2年度より公共下水道事業特別会計から下水道事業会計に移行し、水道事業会計とあわせて企業会計になりました。(※1)

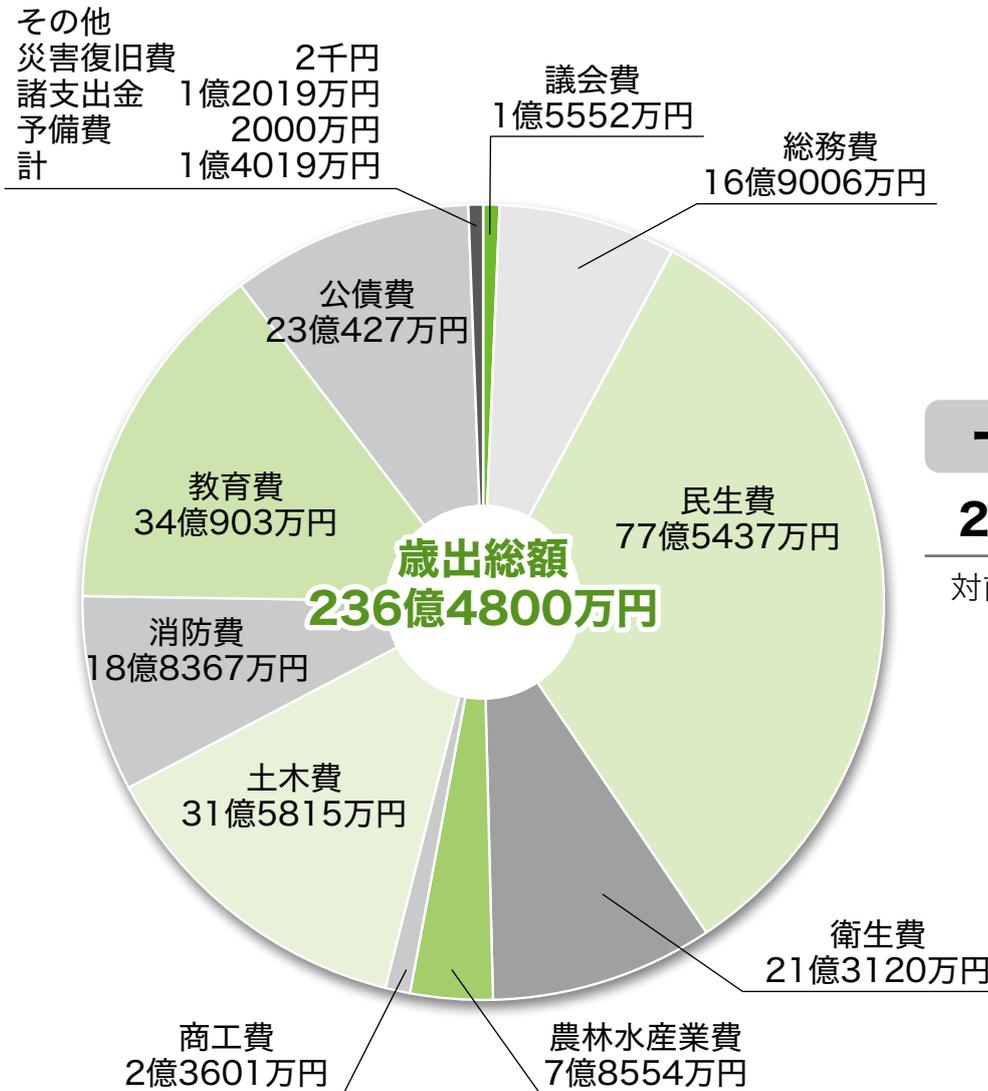
議会だよりNo.53で
用語の解説をしているよ!
いっしょに見てみてね!



令和2年度予算特集

どう使われるの？

一般会計 歳出



一般会計予算

236億4800万円

対前年度比 14.1%の増

会 計 名	本年度予算額	前年度予算額	増 減 額	増 減 率	
一 般 会 計	236億4800万円	207億1700万円	29億3100万円	14.1%	
特 別 会 計	国民健康保険	71億5891万円	72億4433万円	△8542万円	△1.2%
	後期高齢者医療	5億7848万円	5億4273万円	3575万円	6.6%
	介護保険	47億9816万円	47億3926万円	5890万円	1.2%
	農業集落排水事業	2億2747万円	2億2095万円	652万円	3.0%
	公共下水道事業	下水道事業へ移行 (※1)	5億2481万円	△5億2481万円	—
企 業 会 計	水道事業	21億7308万円	21億1207万円	6101万円	2.8%
	下水道事業	7億898万円	—	7億898万円	—
合 計	392億9308万円	361億114万円	31億9194万円	8.8%	

※予算額は四捨五入により記載しているため、合計等が一致していない場合があります。



土木費全体の予算は前年度比58.3%増 「自然災害に強いまちづくり」を推し進めます



主な事業

道路建設課

「道路整備事業」で緊急自然災害防止対策事業を実施

国が防災インフラの整備を推進するために新たに創設した有利な地方債「緊急自然災害防止対策事業債」を活用し、市内全域を対象に大雨時等に冠水被害が生じている道路の排水整備を実施します。

社会教育等複合施設を整備

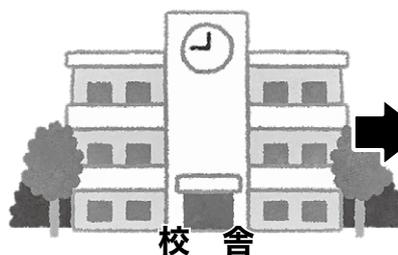


主な事業

生涯学習課

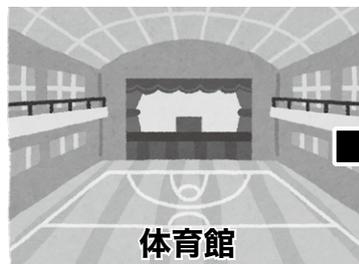
廃校を活用した拠点づくり

旧徳宿小学校を活用し、郷土資料館の整備、あけぼの館やすずらんルームの移設、文化活動団体及びスポーツクライミングの拠点として整備します。



校舎

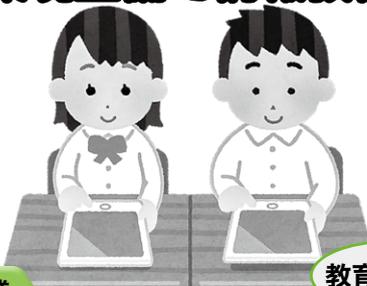
- ・郷土史、文化資料の展示コーナー
- ・あけぼの館
- ・すずらんルームなど



体育館

- ・スポーツクライミング施設

ICT環境整備で情報教育推進



主な事業

教育総務課

タブレット端末を整備

国のGIGAスクール構想を推進。小・中学校に一人一台のタブレット端末と高速大容量の通信ネットワークを順次整備します。

さんて旬菜館をリニューアル



主な事業

農業振興課

銚田市の農業の魅力を発信

銚田市の農業の魅力をさらに発信すべく、農産物や水産品をその場で食べられるイートインコーナーを設置します。



特集

令和2年度 注目の事業を check!

※写真やイラストはイメージです。

市民の生命を守るために



危機管理室

主な事業

防災減災対策を万全に

超高密度気象観測機器を4台導入
自主防災組織の育成支援
防災士育成支援 などを実施

効率的な農地の活用を目指して



農業振興課
農業委員会

主な事業

地域の農業者と話し合います

農地利用実態把握調査(アンケート)実施
今後の利用意向を地図化
地域座談会(33地区)開催
農地の集積・集約化をとりまとめ

大洗町とごみ処理施設建設で連携



生活環境課

主な事業

広域ごみ処理施設建設を推進

大洗町とごみ処理施設建設に向けて協議会を設立。適地選定などを行います。

仕事と子育ての両立を支援



子ども家庭課

主な事業

児童クラブで時間外保育実施

公立児童クラブ(銚田南・大洋西・大洋東児童クラブ)において、時間外保育を実施します。

子どもの発達相談を身近に



健康増進課

主な事業

銚田保健センターで実施します

身近に発達相談を受ける機会を提供
両眼視機能検査装置を導入
(3歳児視力検査)
新生児聴覚検査を実施

スマホでクレジットカード決済



- ・市県民税
- ・固定資産税
- ・軽自動車税
- ・国民健康保険税

収納課

主な事業

納税にクレジットカード決済

納税者の納付方法拡充と利便性の向上を図ります。(※10月以降導入予定)



予算特別委員会

「3月13日 本会議で付託された当初予算案を是々非々で問い質しました。」

委員構成

委員長	二重作 茂兵衛
副委員長	亀山 彰
委員	議長を除く議員

3月13日設置

主な質疑

人口減少対策の取組みは

委員 銚田市版マリッジサポートセンターとは。

課長 仲人の役割を果たすマリッジサポートを養成し、サポートによる男女の結婚相談業務を行い成婚を促す。

クレジット決済の導入経緯は

委員 令和2年度からクレジット決済を導入した理由は。

課長 クレジット決済に係る手数料の経費の問題から事業導入を見合わせてきた。しかし、国・県の税金徴収については、クレジット決済が行われているため、市税の納付に関しても市民からの要望があり事業の開始を図る。

銚田市観光物産協会の設立に不安

委員 (仮称)一般社団法人銚田市観光物産協会の設立にあたっての詳細な事業計画は。

課長 現段階での詳細な事業計画は未定である。

委員 一般社団法人設立にあたっては、明確な収支計画を含む事業計画案や法人の運営方針案を議会に提出することを求める。

安塚地区公園整備事業の今後は

委員 安塚地区公園整備事業における工事請負費の内容と今後の計画は。

課長 公園ゾーンと大雨による冠水対策としての湿地ゾーンを特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し整備する。

課長 令和2年度と令和3年度の2カ年を1期工事と2期工事に分けて発注し、総事業費約2億7千3百万円程度を見込んでいる。

認定こども園の用地選定に疑問

委員 用地選定委員会等を設けずに行政主導で旧銚田小学校敷地内へ認定こども園建設を決定した経緯は。

課長 公立保育所と幼稚園ともに老朽化が顕著であり、また待機児童や保留児童解消に向けた対策として早急に用地を検討する必要があった。庁議で議論を重ね、旧銚田小学校敷地内への新規建設を決定した。

旭統合小学校の整備スケジュールは

委員 旭統合小学校整備事業の令和2年度の進捗予定は。

課長 令和2年度では、候補地選定を完了させ、基本計画策定を進める。

課長 令和3年には用地取得や造成設計、令和5年度に本体工事を発注し、令和7年4月開校を目指している。



主な討論

議案第1号 令和2年度鉾田市一般会計予算

賛成

早急に取り組むべき行政サービスや市民生活向上のために新たに取組む施策などが盛り込まれた積極的な予算編成となっている一方で、個別事業計画や財政計画の準備不足が露呈された。しかし、喫緊の行政課題解決や多様な市民ニーズに早急に応えるためには遅延は許されないと、新型コロナウイルス対策に全力で臨んでほしいことなどを踏まえると認めざるを得ない。多くの指摘があった各事業の進捗などを随時報告するよう求めたうえで賛成する。

議案第2号 令和2年度鉾田市民健康保険特別会計予算

反対

子育て世帯が増税となる内容で、十分な財源があるにも関わらず、子育て支援に反するので反対。歳入の向上を目指して段階的な税率改正や収納対策を図りつつ、医療費等の抑制を継続し、財政状況の健全化も計画的に進められており予算は妥当なもの。

議案第3号 令和2年度鉾田市後期高齢者医療特別会計予算

反対

保険料見直しによる税率の引き上げが決定され、低所得者に対する保険料均等割9割軽減措置が廃止されるなど、安心した老後を送ることができないため反対。

賛成

高齢者医療の充実のためには、後期高齢者医療制度が適切に運営されることが重要であり賛成。

市政を問う 会派代表者質問

3月5日

よりよいまちの実現と
便利なインフラ整備



党 明 議員
市 鉾 議員
入 江 議員

問

急激な人口減少に歯止めをかける一手は何か市長の考えを伺う。

答

【市長】人口減少問題は喫緊の課題として取り組まなければならない。まちづくりの基盤を支えるのはひとであり、この急激な人口減少幅を緩やかなものにするのが重要である。

結婚から妊娠、出産、子育て支援、教育環境の充実、雇用の場の創出、住宅支援、生活環境の整備など横断的に切れ目のない政策を展開し、循環社会の礎を築くことが大切である。

問

インフラ整備は、たいへん重要な施策であるが多額の予算が必要となる。市長が考える一番に力を入れ

答

【市長】好循環を支えるまちづくりとともに、自然災害に強いまちづくりに向けて、特に近年のゲリラ豪雨のような大雨時に冠水被害が生じている道路の排水整備に重点を置いている。

市民生活の安全や基幹産業である農業を守るため冠水対策は喫緊の課題である。

国の緊急自然災害防止対策事業が道路防災まで拡大されることから、当該制度をできる限り活用し、必要な対策を講じたい。

その他の質問事項

- ・徹底した行政改革について
- ・安心の子育てについて
- ・頼れる福祉について
- ・活気ある地域について
- ・誇れるまちについて



令和2年第1回定例会

主な日程

- 3月3日〔火〕 本会議
 - ・市長施政方針並びに提出議案説明
 - (議案第1号から第30号)
- 3月5日〔木〕 本会議
 - ・会派代表者質問
 - ・一般質問
- 3月6日〔金〕 本会議
 - ・一般質問
- 3月10日〔火〕 各常任委員会
- 3月11日〔水〕 本会議
 - ・議案第8号から第30号質疑・討論・採決
- 3月13日〔金〕 本会議
 - ・市長提出議案説明・質疑・討論・採決
 - (議案第31号)
 - ・議案第1号から第7号質疑(令和2年度当初予算案)
 - ・予算特別委員会の設置
- 3月16日〔月〕 予算特別委員会
- 3月17日〔火〕 予算特別委員会
 - ・議会改革に関する調査特別委員会
- 3月18日〔水〕 予算特別委員会
- 3月24日〔火〕 本会議
 - ・議案第1号から第7号委員長報告・討論・採決
 - ・議案第1号から第3号提出議案説明・質疑・討論・採決
 - ・閉会

各議員の賛否が分かれた議案等

会議名	議案等	議員名														討論等について		採決結果			
		土子勝也	羽成洋一	鬼澤治男	高埜栄治	井川倫士	亀山彰	二重作茂兵衛	小沼勝	根寄眞	水上美智子	入江晃	岩間勝栄	井川茂樹	米川宗司	山口清一	田口正衛		堀田正衛	高野衛	賛成
第1回定例会	第2号 令和2年度鉾田市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	山口	高野	可決
	第3号 令和2年度鉾田市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	高埜	高野	可決
	第12号 鉾田市国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	小沼	高野	可決

○：議案等に対して賛成 ●：議案等に対して反対 議：議長 退：退席 欠：欠席 除：除斥

全会一致で可決した議案等

会議名	議案等
第1回定例会	第1号 令和2年度鉾田市一般会計予算
	第4号 令和2年度鉾田市介護保険特別会計予算
	第5号 令和2年度鉾田市農業集落排水事業特別会計予算
	第6号 令和2年度鉾田市水道事業会計予算
	第7号 令和2年度鉾田市下水道事業会計予算
	第8号 鉾田市福祉作業所の設置及び管理に関する条例の制定について
	第9号 鉾田市いじめ問題対策連絡協議会等の設置に関する条例の制定について
	第10号 鉾田市部等設置条例の一部改正について



概 要

令和2年第1回定例会は、3月3日から3月24日までの22日間の会期で開かれました。議案は、市長から令和2年度各会計予算など計31件が提出され、議員からは3件の議案が提出されました。

なお、令和2年度各会計予算は、予算特別委員会に付託され、3日間の集中審議が行われました。(P6～P7)

一般質問は、10人の議員から通告があり、新型コロナウイルスへの対応や未就学児の待機児童対策、一般廃棄物広域処理の整備、就農支援の拡充、災害時の電力確保などについて質問しました。また、公明党銚田市議団が会派代表質問を行いました。

(P7、P11～P16)

総務企画常任委員会では、「飯名地区市有地に関する利活用の進捗状況及び今後のスケジュール」など3件、経済建設常任委員会では「豚コレラ対策」など3件、厚生文教常任委員会では「新型コロナウイルス対策」など2件の所管事務調査を行いました。

今定例会では、市長提出議案並びに議員提出議案すべてが可決されました。

なお、議員から提出された議案第1号「新型コロナウイルスに対する対応への決議書(案)の提出について」並びに議案第2号「令和2年度銚田市一般会計予算に対する附帯決議(案)の提出について」は、可決後に市長に対し決議書が提出されました。(P10)

全会一致で可決した議案等

会議名	議 案 等	
第1回定例会	第11号 銚田市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	
	第13号 銚田市営駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について	
	第14号 銚田市道路占用料徴収条例の一部改正について	
	第15号 銚田市放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正について	
	第16号 銚田市立学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	
	第17号 鹿島地方公平委員会共同設置規約の変更について	
	第18号 令和元年度銚田市一般会計補正予算(第4号)	
	第19号 令和元年度銚田市介護保険特別会計補正予算(第3号)	
	第20号 令和元年度銚田市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	
	第21号 令和元年度銚田市水道事業会計補正予算(第3号)	
	第22号 市道路線の変更について	
	第23号 市道路線の廃止について	
	第24号 市道路線の認定について	
	第25号 第28号	銚田市公の施設の指定管理者の指定について
	第29号	人権擁護委員の推薦について 畠長弘氏(銚田市箕輪)
	第30号	人権擁護委員の推薦について 田山文恵氏(銚田市勝下新田)
	第31号	令和元年度銚田市一般会計補正予算(第5号)
	議案第1号	新型コロナウイルスに対する対応への決議書(案)の提出について
	議案第2号	令和2年度銚田市一般会計予算に対する附帯決議(案)の提出について
	議案第3号	銚田市議会委員会条例の一部を改正する条例



可決

新型コロナウイルス対策に万全を!

議議案第1号 新型コロナウイルスに対する対応への決議書(案)の提出について

今後、市内で新型コロナウイルスの感染者が確認され、感染蔓延期に至った場合を想定した上で、万全の体制を確立する必要があるため要望するもの。

(以下、決議書より抜粋)

感染予防・行動指針を策定した上で、感染予防知識の正しい情報提供を行うこと。市庁舎内での相談体制の確立を目指し協議をすること。特に多言語対応について取り組むこと。

診療体制及び検査体制のより一層の確立と拡充について国・県へ要望し、加えて、感染患者を受け入れる病床数の確保も同様に要望すること。

感染予防物品の更なる調達に努めること。また市内の医療機関、介護施設や市関係機関等に必要の範囲の中で物品の提供を行うこと。

4月以降の小中学校の休校措置の解除について、濃厚接触を避けるための配慮も含め、地域の実情と科学的根拠に基づき判断すること。

児童生徒向けに休校により生ずる学力格差への対応、成人者を含めての家庭で感じるストレス及び運動不足の解消等のために、必要な事項を検討し積極的な対策に努めること。

自粛等による長期的な経済停滞に対して、市で実施可能な経済対策の施策実行に向け協議すること。また、収入保障を含めての経済対策や上記全ての市施策により発生する予算措置への自治体負担の軽減策について、国・県へ改めて要望すること。



決議書を市長へ提出し、対策を強く要望しました。

可決

令和2年度一般会計に対する附帯決議を可決



附帯決議
って何?

議案を議決する際に付け加えられる議会の要望のこと。法律的な強制力はありませんが、政治的に尊重されるべきものとされています。

議議案第2号 令和2年度鉾田市一般会計予算に対する附帯決議(案)の提出について

(以下、決議書より抜粋)

議案第1号令和2年度鉾田市一般会計予算の採決に当たり、鉾田市観光協会を(仮称)一般社団法人鉾田市観光物産協会にする件、保育幼児教育再編整備事業委託料(認定こども園設計業務委託料、測量等業務委託料)における認定こども園設立の件で、下記の意見を附する。

記

1. 一般社団法人設立にあたっては、明確な収支計画を含む事業計画案や法人の運営方針案を議会に提出後、執行する事。
2. 一般社団法人化後4年目からの自立運営に向けての進捗等を議会へ報告する事。
3. 農産物直売所の指定管理に向けて、部会役員と慎重に協議を重ね、部会会員への説明は一層丁寧に行う事。
4. 認定こども園設立にあたっては、待機児童、保留児童解消対策として、令和4年度開園に向けて速やかに事業を進めると共に民間事業者へ配慮、調整協議をする事。
5. 認定こども園開園に向けて、職員数の充実や人事交流等による共通認識の醸成に努めると共に、周辺道路等の環境整備や災害時等の安全対策を最大限行う事。
6. 公共施設新設、大規模改修等については、『鉾田市公共施設個別施設計画』を早期に策定し、執行する事。また速やかに『総合計画』・『財政計画』及び『学校跡地利活用実施計画』等において反映・位置づけを行い、議会に対して計画策定、事業進捗状況について随時報告する事。



ここが聞きたい!!! 一般質問



質問

議員名	質問事項
井川 倫士 P12	1 行政組織の適正人員と適正配置について
	2 改善・改革サイクルを創り出す行政運営について
	3 本市の郷土愛を育む施策と観光振興策に関するビジョンについて
	4 各種相談業務の質の向上策について
高野 衛 P12	1 新型コロナウイルスへの対応について
	2 原子力災害に備えた広域避難計画(素案)説明会について
	3 大洋東児童クラブにおける不適切な会計処理について
	4 保育園の給食費軽減について
	5 農地造成問題と農地転用などについて
	6 豚熱(CSP)ワクチン接種と負担軽減について
	7 工業団地進出企業と公害防止協定締結について
根寄 眞 P13	1 一人一人の健康と安心を支える地域づくりについて
	2 鉾田市都市計画マスタープランについて
井川 茂樹 P13	1 大規模災害について
	2 未就学児の待機児童対策について
	3 水鳥センターについて
	4 市庁舎について
堀田 正衛 P14	1 飯名地区市有地の利活用について
	2 一般廃棄物広域処理事業について
	3 舟木小学校跡地を活用した道路整備及び駐車場整備について

議員名	質問事項
高埜 栄治 P14	1 少子化対策ならびに若者定住のための施策の充実について
	2 文化遺産、自然景観及び産業等を活かした教育活動の振興ならびに観光等の地域活性化推進について
入江 晃 P15	1 新型コロナウイルス肺炎に対する市の対応について
	2 高齢ドライバーを守るサポカー補助金について
	3 社会教育複合施設整備事業について
	4 就農支援の拡充について
	5 農地バンクについて
亀山 彰 P15	1 安心安全に暮らせる地域コミュニティ形成について
水上美智子 P16	1 教育環境の充実について
	2 枝粉碎機購入について
	3 通学路の安全について
	4 ホームページの活用について
小沼 勝 P16	1 台風15号・19号及び21号豪雨による被災者に対する補助事業の進捗状況について
	2 東京電力の業務システム障害について
	3 災害時の電力確保について
	4 合併特例債事業の進捗状況と今後の計画について
	5 飯名地区市有地利活用について

一般質問とは?

議員が市政全般の現状や方針などを問うものです。ここでは、一般質問を要約して掲載します!!



鉾田市議会ホームページで一般質問の会議録を公開しています!

- ① 鉾田市のホームページへアクセス
「<http://www.city.hokota.lg.jp>」
- ② 市ガイド内の「鉾田市議会」をクリック
- ③ 会議録をクリック

※今定例会の会議録は6月上旬公開予定です。



また、各議員のQRコードを読み込むことで、一般質問の録画放送を再生できます。

鉾田市役所ホームページ

検索





高野 衛

新型コロナウイルスへの対応は



井川 倫士

市民目線に立った文書の作成を



問 新型コロナウイルスに関する相談窓口や感染予防対策、さらに感染が疑われる場合の検査機関の確保、感染時の治療先など、市民への情報提供を早急に行う必要があると思うが、その考えを伺う。

答 【健康福祉部長】市では、相談窓口や感染予防対策など新たな情報を更新しながら、市ホームページやSNS、広報紙などで周知している。また、検査と治療先

問 行政資料は、本市に限らず、分かりにくいと一般的に言われている。文書作成の際に、重要視・優先している点などはあるのか。

また、統一的書式を用いて作成されているのか。さらに組織として、どのように指導しているのか伺う。

答 【総務部長】行政資料については、銚田市条例及び規則等の制定における公用文の作成に関する

規程及び常用漢字表等を参考に作成しているが、一般的な市民向けの文書については、統一的な書式はなく、各課で対応しているのが現状である。

組織としての指導は、主幹級職員を対象に市民やプレス向けの発表の仕方などを行う研修会を実施している。今後は主幹級以外の職員も対象にした研修会の開催を検討したい。

再質問 今回のコロナウイルス感染症の

については、潮来保健所や帰国者・接触者相談センターへの問い合わせにより、感染者指定医療機関を案内することとなっている。

再質問 市独自の相談窓口の設置並びに銚田保健所においても相談窓口を設置する必要があるのではないか。

また、検査体制を充実させる観点から県に必要な要望を行ってはどうか。

答 【健康福祉部長】現在のところ、相談

拡大に伴い、学校休校に関する文書を保護者向けに配布している。この中で学童保育の実施方法や給食費返金など保護者が休校に際して、関心が高いであろう関連の内容が書かれておらず、縦割りの内容となっている。市民目線に立った文書の記載はできなかったのか。

答 【教育長】早急に必要内容を通知すべく心掛けたが時間がなく、必要最小限の休校に関する内容のみを通知す

窓口は帰国者・接触者相談センターが担うこととなっているので、市はその情報提供に努めていく。検査体制の充実に向けては、潮来保健所に要望していきたい。

再質問 市内で発症が確認された場合、近くに相談先があるだけでも、市民の安心に繋がるものと思われる。ぜひ銚田市に相談窓口の設置を検討していただきたい。

また、消毒液と災害時用に備蓄しているマスクは

るに至った。ご理解いただきたい。



どのような状況下で配布するのか、市長の考えを伺う。

答 【市長】相談窓口の設置については、銚田市新型コロナウイルス対策本部会議内で検討していきたい。

また、消毒液及び備蓄マスクの配布については、在庫状況と市内の各医療機関等の現状及び要望を十分に考慮したうえで対応していきたい。





井川 茂樹

大規模自然災害への対応



問 台風15号と19号、その後の大雨による被害は、最終的にどの程度だったのか伺う。

答 【総務部長】罹災証明書発行件数の把握数で、家屋被害は全壊3件、大規模半壊1件、半壊2件、一部損壊110件、その他被害79件である。道路被害は通行止め342箇所、土砂流出169箇所、冠水16箇所である。

農業関係では、農作物推計被害額6億8395

万7千円、農業用パイプハウス推計被害額18億7457万8千円、畜産酪農業では畜舎等推計被害額941万2千円となっている。

再質問 大谷川氾濫により、一部家屋が床下浸水を被った。今後の水害対策はあるのか。

答 【建設部長】県の令和2年度予算で、堤防周囲の樹木伐採と整

地、護岸補修を行うと聞いている。

答 【市長】県に対し、強く要望している。

問 九州では災害に強いパイプハウス建設が進んでいると聞く。市内農家の方の判断材料になるよう見本的に建設するとか、建設にあたっての支援策を講じる考えがあるか伺う。

答 【産業経済部長】建設費用に課題があるが、農家の方が建設を判断できるように費用の支

援や耐久性について、農協と検討を進めたい。

問 今後の大規模自然災害への対策等について伺う。

答 【総務部長】平時よりハード・ソフト両面から防災減災対策を講じることが重要である。この考えを踏まえ、令和2年度予算では、有利な特定財源等の活用を図りながら、防災減災に繋がる各事業を進めたい。



根寄 眞

一人一人の健康と安心を支える地域づくり



問 健康と安心を支える地域づくりに向けて実施する介護予防啓発事業の取組みについて伺う。

答 【健康福祉部長】介護予防に繋がるパンフレット配布や各地域に出向いて開催する出前講座の実施、認知症や医療介護を内容とした有識者による講演会の開催、介護予防教室の開催、行方市と合同開催で行うシルバーリハビリ体操指導士3級養成講座等を実施

している。

再質問 シルバーリハビリ体操教室の会場として、大洋地区は上島西小と白鳥西小のコミュニティセンターを使用しているが、大洋地区小学校統合によって、使用できなくなるのではと不安の声が聞かれる。

答 【健康福祉部長】連携調整を図りつつ、予防担当課と教育委員会間で連携調整が図られているのか伺う。

協力できるところについては対応したい。

再質問 本体操は、県が普及を進めている事業である。そこで県の福祉部次長として陣頭指揮をとっていた副市長に伺う。この体操の成果や効果が数字で証明できるものはあるか。

答 【副市長】体操教室への参加者が多い市町村で見ると、介護認定を受ける人や保険料が減少傾向を示している。また数字以外にも指導士

の生きがいづくりや地域コミュニティ創出の場として、非常に重要な要素を担っている。

本市でもこの取組みを前向きに推進していきたい。

提言 体操教室の普及に向けて、体操教室会場の確保と会場までの移動手段、広報紙への掲載、さらに長く積極的な指導活動を実施している指導士の表彰制度を検討されたい。





高埜 栄治

文化遺産等を活かした教育活動振興・観光等による地域活性化推進



堀田 正衛

飯名地区市有地の利活用



問 文化遺産、自然景観、産業等を活かした教育活動振興や観光等による地域活性化推進に向け、本市の魅力や価値をどのように捉え、活用する考えなのか伺う。

答 【教育部長】 社会科学副読本を通して、郷土への関心や主体的な学習態度が身につく指導を行っている。また、図書館では郷土資料を研究者はじめ市民が活用できるよう努めている。

答 【産業経済部長】 文化遺産等を活かした観光による地域活性化には、整備投資に見合った観光需要の創出が難しいこと等が挙げられる。しかし、他地域と差別化できる文化遺産等もあることから、需要の掘り起しに努めたい。

再質問 教育活動において本市の地理・歴史・伝統文化等の様々な地域素材をどのように活かしているのか。また、文化財保護法等の改正に伴う協議会設置や取組みについて伺う。

答 【教育長】 グローバルな視点を持つ人間を育てるには、郷土への理解と愛情が必要である。今後の社会複合施設整備の際には、充実を図りたい。

答 【産業経済部長】 観光需要の掘り起しや我々が不足するマーケティングについて、今後法人化する観光協会等で補いつつ、優先順位を整理し対応したい。また、文化財保護法改正に伴う取組みは、教育委員会と連携を図っていきたい。

提言 全国にアピールする手法として「烟田旧記」及び多くの城館跡をストーリー化して「戦国常陸の源平合戦」をテーマに日本遺産への登録ができる。また、自然や産業景観を活かし、大きな経済効果を生むフィルムコミッションの活用が考えられる。本市には歴史的価値の高い様々な地域資源等が数多くあるので、様々な角度から本市の魅力を発信していただきたい。

問 昨年9月定例会に提出された補正予算の中で、飯名地区市有地の利活用に関する基本構想計画委託料が計上されたが、その後の進捗状況について伺う。

答 【総務部長】 飯名地区市有地利活用基本構想、基本計画策定業務委託に係る公募型プロポーザルによる選定を現在進めている。2月14日に参加者表明の募集を締め切り、参加者表明事業者から技術提案書の受付

を行っている。その後、書類及びプレゼンテーション審査によって、受託業者の選定を年度内に完了したい。

再質問 令和2年度まで本計画が取りまとめられる予定とのことだが、基本構想の段階で議会や市民に対し内容を公表する予定はあるのか伺う。

答 【総務部長】 今回の選定で、基本構想及び基本計画を発注する。施設の理念、あるいはペー

スとなる施設の配置やデザインが反映される基本構想ができた段階で、議会や市民に公表していきたい。

再質問 飯名地区の問題は住民アンケートをやったなかで施設を造ってほしいと、また地元もそういった意向が強いことから、これを進めてもらいたい。

そして、この施設整備について、最終的に市長はいつ判断をするのか伺う。

答 【総務部長】 最終的な利活用をどうするかについては、基本計画ができるると大体の施設の外観、概算事業費等が出るので、そのときに判断する時期と考える。

再質問 市長から明確な答弁を聞きたい。

答 【市長】 政治家たるものは肅々とやらせていただく。





問 安心安全に暮らせる地域コミュニティである行政区を今後どのように市は支援し、持続させるのか考えを伺う。

答 【総務部長】行政区では加入者が年々減っている現実がある。それは経済的事情あるいは後継者がいないといった色々な事情がある。昨今議論になっているものに自主防災組織がある。非常時の自助、共助といったテーマに対する

問 社会教育複合施設整備事業が新聞報道され、いい意味で大きな反響がある。供用開始はいつ頃を目標にしているのか、施設の運営体制については決まっているのか伺う。

答 【教育部長】社会教育複合施設整備事業は令和2年度に施設の改修工事等を実施する予定で、令和3年3月完了を見込んでいます。改修工事完了後は、施設備品等の整備が必要となるので、

再質問 自主防災組織を形成されていくことが理想形と思う。

再質問 自主防災組織をどのよう育成していくかというのが一番の課題であると思う。区長のなり手もない、そして消防団の担い手もない、PTAすら入らないという時代の中で、大規模災害があったときに、共助で隣近所の力を合わせて一緒に活動をしていかなければと生命、財産を守つ

供用開始は令和3年4月以降と考えている。しかしながら、予定より早く供用開始できるものについては、順次の供用開始を考えている。また、施設の活用・運営については、関係者や関係団体等と協議を十分に行い、よりよい活用・運営を検討していく。

再質問 国体が大成功し、た折、クライミングをしっかりと鉦田市のスポーツとして維持していければと提案してき

答 【市長】今いる消防団幹部の方々及び

答 ていけないと思う。行政として自主防災組織をどう位置づけしていくかが非常に大事である。一つの新たなコミュニティとして進められたい。各地区で人材を掘り起こして、地域防災から地域のコミュニティをもう一度見直し、形成していくことに市長がリーダーシップを執り進めていかなければならないと思うが、いかがか。

た。また、旧小学校跡地の有効活用ということが話題になっている。

今後の運営体制では、いろいろな社会教育を徳宿小学校跡地に集中して行っていくということだが、体育館はクライミングだけでは余ってしまうと思う。ほかのニユースポーツなども使えるのか伺う。

答 【教育部長】ニュースポーツなどでできるものがうまく活用で

意見 地域のコミュニティが取れる鉦田市にすべく活動願う。私もそれを担っていきたいと思う。

OBも含め、防災士をリーダーとした地域防災という違った角度により行政の一体感が持てると思う。行政は区長、防災・災害については消防団というのは、これは誰もが認めているので、その方々にもう一度力をかりて、そのような体制づくりを図りたい。

きれば、有効利用を図りたい。

答 【市長】徳宿小学校跡地をスポーツクライミングの本場にしたと思う。

4月からは小学校、中学校、高校においても部に活用したい。

『あのときの国体、鉦田市よかったね』ではなく、その後もスポーツクライミングだったら鉦田市と言われるような大会も設けてみたいと思う。





小沼 勝
東京電力の業務システム障害



問 東京電力の電力供給において、電圧フリックによるシステム障害が銚田市内で起きているが、その原因と対応、周知に関する今後の対策について伺う。

答 【総務部長】東京電力パワーグリッド株式会社を確認したところ、銚田市にたくさん存在するメガソーラー（太陽光発電）などから電力需要以上の供給がされることにより、電圧フリックが起きやすい状態になるとのことである。

市として、この状況は看過

できないため、東京電力に対し早期に収束するよう求めるとともに、周知についても広く市民に周知するよう要望を行った。

また、あらためて文書でも東京電力パワーグリッド株式会社に対し、市長名で早期の解決について要望を行った。

再質問 システム障害を周知するため、市の広報紙や防災無線等を活用すべきと考えるが、いかがか。

答 【総務部長】電圧フリックの要因、内容、現象、どういう不具合が生じるのか

という点を市民に周知するのが重要だと思う。

東京電力から要請があれば、広報紙への掲載は可能であるが、防災無線では、説明が長いと情報が伝わりにくいところがある。

問 太陽光発電事業者は許可申請時に、電圧フリックが起きるとの認識は無いと思う。今後、許可申請時にどのような対処をするのか。

答 【市民部長】10キロワット以上の低圧太陽光発電設備を有する発電事業者に

は、パワーコンディショナー設定変更の協力を求められた際には、これに協力する義務があることを認識させるよう努める。

なお、東京電力、経済産業省では各事業者に向けて電圧フリック対策に協力するよう要請をしていると伺っている。

※電圧フリックとは、負荷の変動によって配電電圧が短時間の周期的変動を連続的に繰り返す現象であり、照明のちらつきや機器の動作不良などの悪影響を生じさせることがある。



水上 美智子
GIGAスクール構想に対する本市の取り組み



問 文部科学省のGIGAスクール構想では、児童生徒向けの端末を1人1台が持つ教育環境の整備とあるが、本市のICT環境の現状を伺う。

答 【教育部長】平成26年度から平成28年度に小中学校にパソコン教室を整備し、これに伴いタブレットパソコンを導入し、パソコンが身近なものとして慣れ親しむことのできる環境を進めることができた。

さらに、令和元年度には、普通教室に大型モニターを整備して、普通教室でICTを活用した学習ができるようになった。

今回の国のGIGAスクール構想は、グローバル化する社会や急速な情報化社会の進展により、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化しており、これに伴い、世界規模の最先端の教育を実施していくことを目的としている。

本市での事業の整備は、今定例会で補正予算を計

上し、令和2年度の完了を目指す。

再質問 国からの補助はどのくらい出るのか。そして、市の持ち出しは何割くらいになるのか。また小学校は何台、中学校は何台くらいどの備品が入るのか伺う。

答 【教育部長】工事請負と備品購入には補正予算債が適用でき、約60%の交付税措置となる。概ね6割程度が国から補助され、4割が市の持ち出しとなると見込ん

でいる。

端末の整備数は中学校と小学校で3200台ぐらいいを購入する予定である。

意見 GIGAスクール構想の実現に向けて、銚田市はしっかりと取り組んでいて評価する。この事業が成功するよう祈念する。



議会活動

議員研修会「タブレット端末の議会における活用について」（2月19日）

目的 タブレット端末を活用した議会ICT化の取り組みの参考とする。

多くの議会で導入が進められているタブレット端末の活用状況や、ペーパーレス化による事務作業の効率化やコスト削減などといった効果について説明を受けました。
また、タブレット端末に自ら触れる機会の少ない議員も実際に操作しました。



分厚い予算書や議案書、たくさんの資料をタブレットに収納。資料を見ながら説明するなど、市民とのコミュニケーションにも活用できます。

災害のときなど、地域の被害の様子を写真に撮って送付するなど、非常時の情報共有にも活用できます。



委員会活動

議会運営委員会視察研修（2月12日～13日）

視察目的 より開かれた議会を実現するため、議会運営等に関する先進的な取り組みを調査研究する。

兵庫県
西脇市

市民の声や意見を反映した議会活動

西脇市議会は、議会改革への取り組みに加え、市民の関心や議会の魅力度などを調査する「議会活力度」のトップとなり全国から注目されている議会です。

議会報告会を40もの自治会単位で開催しているほか、市民団体と常任委員会との意見交換会など、市民の声や意見を積極的に聞き取ることに重点を置いています。

また、議員個人が一般質問で提案したことを常任委員会で検討し、必要に応じて所管事務調査を開催して執行部の取り組みに対する追跡調査を行います。さらに、議会での議決を経て執行部に対し政策の申し入れを行うなど、特徴的な議会運営を行っていました。

兵庫県
加東市

政策議会を目指して

加東市議会は政務活動費がなく、会派が無い状態で、いかに政策立案能力を向上させていくかを念頭に『政策議会への脱皮』を図るための先進的な取り組みを行っています。

議員の資質向上を目指し、議員個人が参加する研修会に対して負担金や旅費などを支給しています。また、決算委員会では質疑が終了した後に、改めて委員同志での討議を行う時間をとり、決算審議で課題となった市政の問題点を整理するなど、執行部に対し政策提言ができる体制を構築していました。

両市議会ともに議員間での討議を積極的に行い、議会としての意見を集約することに努めました。議会としての意見を集約するための判断材料として、市民の声に耳を傾けることが非常に重要なことであると感じました。



委員会活動

百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会視察研修（1月16日～17日）

視察目的 百里基地及び地方空港における騒音・安全対策等の取り組みを調査する。

百里基地

騒音問題への対応と 事故再発防止を求めて

百里基地から離着陸する戦闘機の騒音や機体の不具合による火災、部品等の落下など様々な事故の発生は、本市が長年抱える懸案事項です。

百里基地は、首都圏唯一の戦闘機保有部隊として、24時間365日の領空警戒監視業務や、多発する豪雨や台風、地震などの災害発生時の際の災害派遣・捜索救難活動など重要な役割りを担っています。また、周辺自治体や住民との連携強化に努める取り組みとして、基地見学の受け入れや航空祭の開催などを実施しているとのことでした。

戦闘機からの騒音問題については、住民目線に立ち、できる限りの善処を図りたいとの説明でした。

福島空港

地方空港の周辺地域対策は

民間航空機が離着陸する福島空港では、航空機の飛行経路にあたる8地点の騒音レベル調査を実施していました。また、航空機がテレビ電波受信状態に及ぼす影響の対策として共同アンテナ20基を設置し、対象となる1市2町1村の約3,200世帯に配信しています。この他にも、空港内の凍結防止対策によって生じる排水の一部が、農業用水に利用されていることから、毎年2回の水質検査を実施するなど様々な周辺地域対策が行われていました。

騒音や多発する事故による市民の不安解消に向け、関係機関への要望活動はもとより、百里基地並びに茨城空港に対して、情報の開示と再発の防止を強く求め、今後の動向を注視してまいります。

原子力施設の安全に関する調査特別委員会視察研修（1月29日～30日）

視察目的 発電所が取り組む安全対策や再稼働に向けた動き等について調査する。

柏崎刈羽 原発

福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえて

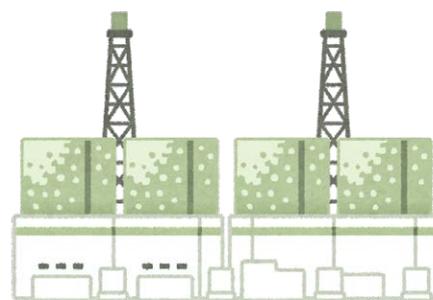
柏崎刈羽原子力発電所には、東海第二発電所と同型の沸騰水型原子炉7基が建設されています。現在はすべて稼働を停止していますが、福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえた様々な対策に取り組んでいました。

①津波による衝撃や浸水から重要な設備を守る取り組み

柏崎刈羽原子力発電所では、6.8mの津波が想定されていることから、海拔15mの高さの鉄筋コンクリート製防潮堤や防潮壁、防潮板などを設置しています。

②原子炉等を冷やし続ける電源を絶やさないための取り組み

移動式の電源車や、全電源を失った場合でも原子炉へ注水可能な設備など、有事の際に電源を確保するための対策や原子炉等を冷やし続けるための設備や手段が何重にも整備されています。またこれらは、同時に使用不能とならないように、発電所敷地内の津波の影響を受けない高台に分散して配備されています。



老朽化が懸念される東海第二原発の再稼働に向けた動向や、住民説明会が実施され策定が進められている広域避難計画の進捗についても注視してまいります。



令和元年度議会報告会

『議会と市民との意見交換会』開催

65名の参加者から多くのご意見やご質問をいただきました。
その一部をご紹介します。

飯名地区市有地利活用について

- ・高齢者や子ども、障害者など市民が利用しやすい施設になるよう要望してほしい。
- ・文化複合施設建設は合併時の合意事項。早急な実現を要望してほしい。
- ・市民の声や意見が取り入れられる仕組みを要望してほしい。

生活道路の整備について

- ・通学路にある危険箇所に防犯カメラ設置を要望してほしい。
- ・生活道路整備が計画されている路線の開示はしてもらえるのか。
- ・区に加入していない市民からも整備要望できる仕組みを要望してほしい。

子育て支援と拠点施設について

- ・石岡市や龍ヶ崎市では子育て支援の充実に向けて、学童保育に充てる予算が増となっている。鉾田市はどうか。

廃校利活用について

- ・廃校利活用の案は出ているが、市や議会は活用の具体例は考えているか。
- ・農協と手を組み、野菜加工場を作れないか要望してほしい。

公共交通について

- ・鹿嶋市のようなコミュニティバスの運行を要望してほしい。
- ・デマンドタクシーの運行範囲拡大を要望してほしい。
- ・高齢者が利用しやすいよう、大洗鹿島線のホームにエレベーター設置を要望してほしい。

人口減少について

- ・人口減少は本市の一番の課題。様々な行政を視察しながら、人口減少対策を先進的に推進して欲しい。
- ・昨年の出生数が210人。行政区未加入世帯の増加や空家問題、子育て支援などの課題解決に向けて、議会からも声をあげてほしい。

東海第二原子力発電所について

- ・昨年、東海第二原発再稼働反対の署名を集め市長に提出したが、何の音沙汰もない。議会からも再稼働反対の声をあげて欲しい。
- ・避難の計画は実現性に疑問が残る。避難が必要とならないよう、廃炉を求めてほしい。

報告会で出された意見や市に対する要望などをまとめ、市長に提出しました。
いただいたアンケートにつきましても、今後の議会活動の参考とさせていただきます。
たくさんのご意見ありがとうございました。

Topics

鉾田着物リフォームクラブ手作りマスク寄贈

4月9日、鉾田着物リフォームクラブ（代表 小松崎 三枝さん）の皆さんから、新型コロナウイルス感染症拡大によるマスクの品薄状態が続いていることを受け、鉾田市議会に心温まる手作りのマスクが贈られました。



令和2年第2回定例会(6月)定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
5/24	25	26	27	28	29	30
31	6/1	2	3	4 本会議 (開会)	5	6
7	8	9 一般質問	10 一般質問	11 一般質問	12	13
14	15 常任 委員会	16 常任 委員会	17 常任 委員会	18	19 本会議 (閉会)	20
21	22	23	24	25	26	27

※日程は変更になる場合があります。

令和元年第3回定例会延べ傍聴者数 **37**名
議会映像配信視聴数 **403**アクセス
(令和2年3月3日～令和2年4月6日)



安塚公園 ～綺麗に咲き誇る桜たち～

傍聴者の声



鉾田市子生
浅倉 千夏

初めて市議会を傍聴させて頂きました。少子化対策や若年者定住の施策、郷土教育、観光についての質問で、ちょうど私にとっても身近で関心のある内容となっていました。

東京からUターンで戻ってきましたが、鉾田市に住む私と同世代の人は多くありません。若者も郷土に愛着を持ち、戻ってきたい、ずっと住んでいたいと思えるような、誰からも愛される鉾田市になっていくことを願います。今回の傍聴で、鉾田市が現在取り組んでいる内容を知ることが出来てよかったです。

是非、鉾田市民の皆様にも積極的に傍聴して欲しいなと思います。

編集後記

災害が多かった平成時代から災禍のない令和をどれだけ国民が期待していたことでしょう。しかし、新型コロナウイルスは世界を震撼させ、私たちの暮らしにも影を落としています。生業である経済活動も停滞し、教育福祉コミュニティも機能していません。本市議会としてもアイデアを出し合い執行部とともにできることは速やかに取り組んでいく必要があると考えます。

さて、『議会だより』の編集課題の一つは、議会及び議員活動についての的確に伝えられているかということです。特に、議案審議のための研究と議論の在り方及び議員提言が行政サービス向上に繋がっているかの追跡などお伝えすべき課題解決にも取り組んで参ります。

なお、当該広報とともに議会映像配信視聴を併用して議会チェックをお願いいたします。
(高埜栄治 記)

編集委員

- 委員長 水上 美智子
- 副委員長 鬼澤 治男
- 委員 根寄 眞 高埜 栄治
- 羽成 洋一 土子 勝也

議会を傍聴してみませんか!

次回の定例会は
6月4日(木)～
開会は午前10時です

事前の予約は不要ですので、市役所3階事務局前にお越しいただき、傍聴の受付をしてください。
※日程は変更になる場合があります。

